

社保審－介護給付費分科会 事業者団体ヒアリング

福祉用具の安全対策強化の提案

一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会
Japan Assistive Products Association (JASPA)

(一社) 日本福祉用具・生活支援用具協会

Japan Assistive Products Association (JASPA)

- 設立：2003年4月
- 会員：正会員69社
- 構成：福祉用具製造事業者
輸入事業者 流通事業者



【主な活動】

- 福祉用具のJIS・ISOの標準化等の策定
- 福祉用具の安全に関する情報の収集・発信
等 福祉用具の安全性向上への様々な活動

介護保険制度福祉用具貸与・販売のTAIS登録数 （令和5年6月20日現在）

	合計	貸与	販売
登録数	13,816	12,450	1,366
JASPA会員	8,868	8,015	853
構成比	64.1%	64.4%	62.4%
JASPA会員以外	4,948	4,435	513
構成比	35.8%	35.6%	37.5%

福祉用具事故・ヒヤリハット情報及び注意喚起ツールを発信

複数の福祉用具関連団体

消費者庁

都道府県

市町村

製品評価技術基盤機構

↓ 情報集約

福祉用具の安全情報プラットフォーム

情報収集 ↑

↓ 情報提供



福祉用具貸与事業者 ケアマネジャー 多職種 利用者・家族
介護保険施設 都道府県・市町村の担当者

消費生活用製品安全法

■「製品事故」のうち、次の要件のいずれかに該当するものが「重大製品事故」。

① 死亡事故

② 重傷病事故

※治療に要する期間が30日以上を負傷、疾病。

③ 後遺障害事故

④ 一酸化炭素中毒事故

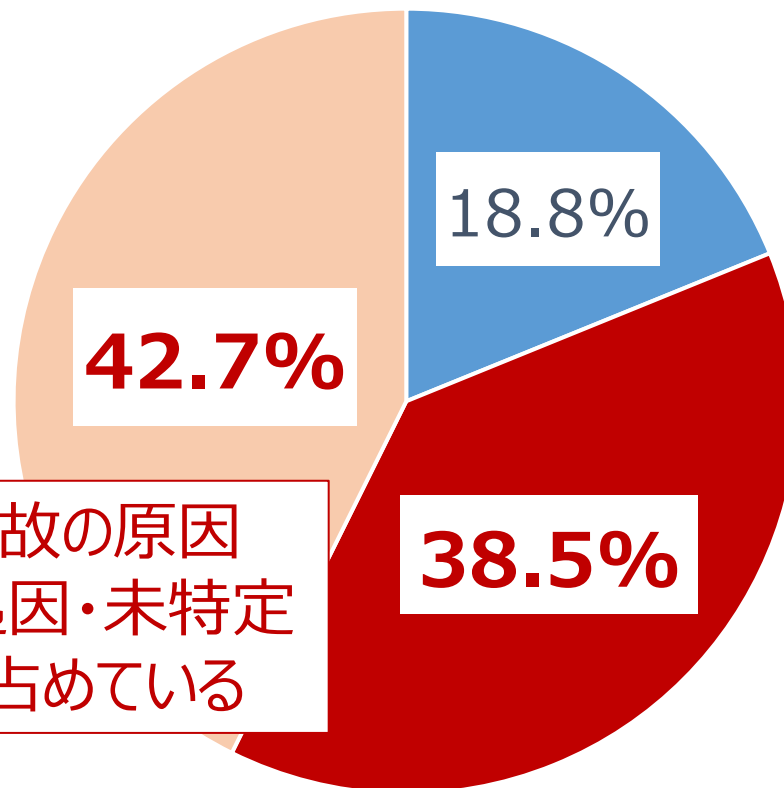
⑤ 火災

※消防が火災認定したもの。

引用元:経済産業省「重大事故の定義」

福祉用具重大事故要因 n=382

- 製品起因が疑われる事故
- 非製品起因
- 製品起因か否か未特定



重大事故の原因
非製品起因・未特定
多数を占めている

福祉用具の安全対策



製品の安全性向上

正しい利用方法の啓発

福祉用具による高齢者の事故では、誤使用や不注意な使い方など、「製品に起因しない事故」の割合が高い。福祉用具による高齢者の事故においては、製品の構造等に異常は見られないものの、事故発生当時の状況が十分に聞き取れないことが多いため、「その他製品に起因しない事故」が多くなる傾向があります。

【JASPAの主要活動】

福祉用具・生活支援用具の機能性・安全性・ 標準化、適合性等の質の向上に関する事業



福祉用具JISマーク (日本産業規格)

福祉機器用語[リハビリテーション機器部門]	JIS T 0102:1997
移動支援のための電子的情報提供機器の情報提供方法)	JIS T 0901 : 2011
手動車椅子	JIS T 9201:2016
電動車椅子	JIS T 9203:2016
病院用ベッド	JIS T 9205:2016
電動車いすの電磁両立性要件及び試験方法	JIS T 9206:2017
車いす用可搬形スロープ	JIS T 9207:2015
ハンドル形電動車椅子	JIS T 9208:2016
電動6輪車椅子の試験方法	JIS T 9209:2018
移動・移乗支援用リフトー第2部：移動式リフト	JIS T 9241-2:2015
移動・移乗支援用リフトー第3部：設置式リフト	JIS T 9241-3:2015
移動・移乗支援用リフトー第5部：リフト用スリング	JIS T 9241-5:2015
移動・移乗支援用リフトー第6部：立ち上がり用リフト	JIS T 9241-6:2015
移動・移乗支援用リフトー第7部：浴槽設置式リフト	JIS T 9241-7:2015
家庭用段差解消機	JIS T 9252:2007
在宅用電動介護用ベッド	JIS T 9254:2015
在宅用電動介護用ベッド追補	JIS T 9254:2015 /AMENDMENT:2016
電動立上り補助いす	JIS T 9255:2007
浴槽内いす	JIS T 9259 : 2010
入浴用いす	JIS T 9260 : 2011

在宅用床ずれ防止用具第1部：種類	JIS T 9256-1:2016
在宅用床ずれ防止用具第2部： 静止形交換マットレス	JIS T 9256-2:2016
在宅用床ずれ防止用具第3部： 圧切替形マットレス	JIS T 9256-3:2016
ポータブルトイレ	JIS T 9261 : 2011
和洋式変換便座	JIS T 9262 : 2011
シルバーカー	JIS T 9263: 2017
歩行器	JIS T 9264 : 2012
歩行車	JIS T 9265 : 2012
エルボークラッチ	JIS T 9266 : 2012
補高便座	JIS T 9268: 2013
ベッド用テーブル	JIS T 9269: 2013
車椅子用クッション	JIS T 9271: 2015
車椅子用テーブル	JIS T 9272: 2015
体位変換用具	JIS T 9275: 2015
据置形手すり	JIS T 9281: 2016
固定形手すり	JIS T 9282: 2018
留置形手すり	JIS T 9283: 2018

エスカレーターは絶対に使用しないでください



使い方による

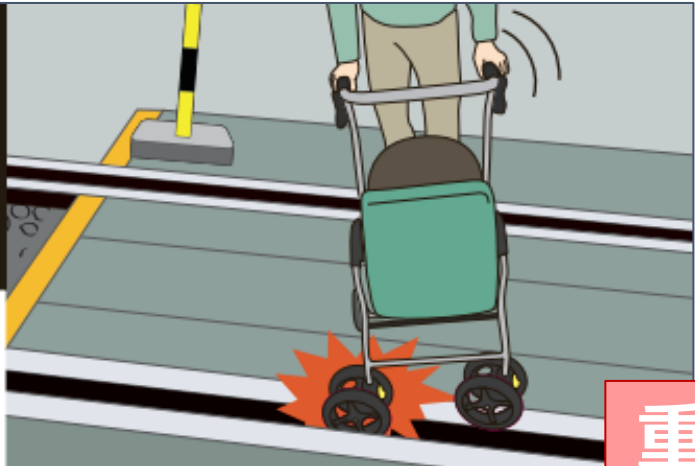
タイヤの摩耗やブレーキの劣化は危険！



製品の不備

電車乗車時や踏切レールの間隙は危険！

大きな隙間は前輪を持ち上げて乗り越えてください



重大事故につながる

様々な行政・福祉用具団体が、福祉用具事故・ヒヤリハット情報及び注意喚起ツールを発信している



都道府県・市町村



参照: (一社)日本福祉用具・生活支援用具協会

福祉用具事故関連情報

- 福祉用具重大事故情報（消費者庁公表）
- ヒヤリ・ハット情報



注意喚起ツール

- 福祉用具貸与・販売種目
→ 動画・リーフレット

➔ 対策① すき間をうめる



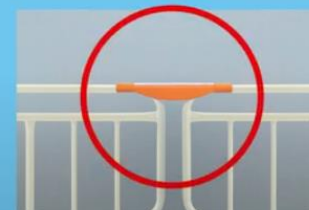
クッション



ベッド用の手すりのカバー



ベッド用の柵のカバー



柵と柵をつなげるスペーサー

その他

- セミナー・研修情報
- 停電時対応
- 標準化情報（JIS等）

長時間の停電 空気の流出を防ぐため、下記の対応をお願いします。

STEP1. 送風チューブを折り曲げて空気漏れを防ぐ

用意するもの ガムテープ、ビニールひもなど

- ①送風チューブの途中をつぶれるまで折り曲げる。
※ポンプから送風チューブを外さないで行ってください。
- ②ガムテープなどで折り曲げた付近をしっかりと留める。
※結末部より空気の漏れがないか確認してください。



福祉用具は「貸与が原則」を維持

- 利用者の身体状況や要介護度の変化、福祉用具の機能の向上に応じて、適時・適切な福祉用具を利用者に提供できる
- モニタリングによる使用方法の確認・保守点検・メンテナンスの実施



福祉用具利用者に対する安全確保の最善の方策